平成２５年度

地域防災の活動報告

平成 26 年３月

さぽーとたい

NPO法人
ひょうご地域防災サポート隊

ご あ い さ つ

早春の候、皆さまには益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。そして、私たちの防災活動について日頃からご支援ご協力いただき心からお礼申し上げます。

さて、このたび平成25年度の防災活動報告をまとめましたのでお届けいたします。引き続き、ご指導ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

ところで、私たちは、平成18年1月にNPO法人の認証を受けて以来、それぞれの地域に出向いて、その地域に合った防災や減災について、その地域の人々とともに考え、それをサポートする防災活動を続けてまいりました。

これらの地域での防災活動を通して実感してきたことは、それぞれの地域の人々が“いざ災害”というときに“実際にどう行動するか、どう行動できるか”ということが極めて重要な視点であるということでした。

そこで、地域の人々の発災時における自主的な行動計画づくりに積極的に取り組んでまいりました。

あの平成7年1月17日の阪神･淡路大震災から、はや20年目を迎えることになりました。震災の記憶を風化させずに、私たちの経験や教訓を、忘れず伝えて・備えていくことがさらに重要な時期となっています。

また、平成23年３月11日に地震・津波・原発という複合災害をもたらした東日本大震災から３年が経過ましたが、被災地では現在も多くの方々が仮設住宅や県外での避難生活を余儀なくされており、まだ生活復興のかたちが見えてこない状況が続いています。

そして、東日本大震災以降も、23年8月の台風12号の記録的な豪雨で和歌山・奈良で大災害が発生、同年9月の台風15号豪雨では首都圏で帰宅困難者が多発、24年7月には九州北部豪雨災害が発生、25年は、4月に淡路島地震発生、9月の台風18号で京都・滋賀・福井に特別警報が発令、10月の台風26号豪雨で東京都の大島町で大きな土砂災害が発生するなどの大災害が続いています。

さらに、25年の3月には国の有識者会議から南海トラフの地震・津波の

被害想定やその対策などが発表され、26 年 3 月末には政府が南海トラフ巨大地震対策の基本方針となる「防災対策推進基本計画」を策定し、最悪で 33 万人以上と想定される死者数を 10 年計画で 8 割減らす目標を明らかにしました。

そのなかで、兵庫県では震度 6 弱以上、3m以上の津波の想定される 24 市町が「防災対策推進地域」に指定され、さらに洲本市と南あわじ市は「津波避難対策特別強化地域」に指定されたところです。

また、兵庫県は、独自に作成した津波シュミレーションの結果を、県のホームページページのなかの CG ハザードマップに反映させ、自宅周辺の危険度が分かるように更新しています。

このように、大災害が頻発する傾向にあるなかで、私たちは県下各地域での防災活動に取り組んでまいりました。出前講座・講演会や防災マップづくり、防災ワークショップや防災訓練などを通じて、地域の防災力の向上を図るとともに、想定される南海トラフ地震・津波などへの備えを訴えてきたところです。

しかし、南海トラフ地震は 2050 年までには必ず起こると言われており、耐震化・室内安全対策・備蓄・避難などの備えや、地域の人々の防災意識の向上がますます必要になっています。

そこで、私たちも、今後さらに新たな気持ちと新たな体制で、地域の防災活動のサポートに取り組んでいきたいと考えております。

私たちの防災活動が地域の皆さまに少しでもお役にたてれば、と願って活動しておりますので、今後とも引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

末筆となりましたが、ご指導ご支援いただきました皆さまに、心から感謝申し上げます。　ありがとうございました。

平成 26 年 3 月吉日

ひょうご地域防災サポート隊

代表　　伊藤 道司

目次

Ⅰ．防災啓発活動（出前講座）　4

Ⅱ．防災啓発活動（防災訓練等支援）　15

Ⅲ．防災啓発活動（防災マップづくり等支援）　21

Ⅳ．防災講演会開催　31
1.17 と 3.11 に学ぶ　～南海トラフ地震などに備えるために～

Ⅴ．その他の活動　35

Ⅰ・防災啓発活動（出前講座）

私たちは、防災知識の普及啓発活動として、一般県民や自主防災組織、市町職員等を対象に、18 地区において、出前講座を実施しました。

実施地区一覧表

NO	開催日	活動内容	実施会場	担当者
1	H25.06.11	佐用町 防災リーダー研修会	さよう文化情報センター大ホール	伊藤道司
2	H25.0725	神戸市北区老人クラブ連合会講演会	神戸市しあわせの村 シルバーカレッジ	伊藤道司 梶谷義昭
3	H25.09.22	日本地方自治研究学会 公開シンポジウムⅡ	兵庫県立大学 神戸商科キャンパス	伊藤道司
4	H25.10.05	西播磨県民局 「出る杭交流会議」	西播磨県民局 大会議室	伊藤道司
5	H25.10.11	太子町太田地区 生涯学習講座	太子町太田公民館	伊藤道司
6	H25.10.20	加東市防災学習講演	加東市立 社小学校	阿山耕三
7	H25.10.26	多可町中村町防災コミュニテイ資料展・防災談義	多可町中村町コミセン 多目的ホール	伊藤道司
8	H25.10.30	兵庫県道路公社 防災講演会	播但連絡道路管理事務所	武部信行
9	H25..11.01	秋田県災害ボランテイアセミナー	秋田県庁第２庁舎　大会議室	伊藤道司
10	H25.11.15	明石市職員防災研修	明石市勤労福祉会館 多目的ホール	伊藤道司
11	H25.11.17	加東市防災学習講演	加東市立 東条西小学校	阿山耕三
12	H25.11.22	加東市職員防災研修	加東市 ケアホームかとう	阿山耕三
13	H25.11.30	香美町「香住区」防災研修会	香住区香住文化会館	寺田良幸

14	H25.12.01.	香美町「村岡・小代区」防災研修会	村岡区村岡 老人福祉センター	寺田良幸
15	H25.12.08	加古川市婦人消防クラブ防災研修大会	加古川市防災センター	寺田良幸
16	H26.01.16	東播磨地域防災の集い	加古川市 総合文化センター	寺田良幸
17	H26.01.29	たつの市地域防災リーダー養成講座	たつの市　分庁舎ホール	伊藤道司
18	H26.02.09	すもと城下町まちづくり協議会講演会	洲本市総合福祉会館	西垣嘉夫 森脇康仁

１・佐用町　防災リーダー研修会

１．依 頼 者　：佐用町
２．開催日時：平成 25 年６月 11 日（火）
　　19:30～21:00
３．開催場所：さよう文化情報センター大ホール
４．講演等の相手
　町内 140 自治会の代表者・防災担当者等
　参加人数：約 300 名
５．講 演 者：伊藤道司
６．講演内容：自主防災組織の重要性についての
　講演「守れ　いのちを！　地域の防災」
　～東日本大震災　いのちの教訓～
　①4.13 淡路の地震と自主防災行動計画づくり
　②東日本大震災　いのちの教訓
　③南海トラフ地震と広域災害
　④最近の豪雨災害の特徴
　⑤地域ですべき防災対策

２・神戸市北区老人クラブ連合会講演会

１．依 頼 者　：神戸市北区老人クラブ連合会
２．開催日時：平成 25 年７月 25 日（木）
　　13:30～14:20
３．開催場所：神戸市しあわせの村シルバーカレッジ
４．講演等の相手
　神戸市北区老人クラブ連合会　会員
　参加人数：約 500 名
５．講 演 者：伊藤道司・（補）梶谷義昭
６．講演内容：　「守れ　いのちを！　地域の防災」
　　～災害から　いのちを守るために～
　①神戸での災害の記憶
　②最近の豪雨災害の特徴
　③東日本大震災の　いのちの教訓
　④南海トラフ地震・津波
　⑤災害から　いのちを守るために

３・日本地方自治研究学会・公開シンポジウムⅡ

１．**開催日時**：平成 25 年９月 22 日（日）13:00～15:00
２．**開催場所**：兵庫県立大学神戸商科キャンパス
　　教育棟２F　201 講義室
３．**講演等の相手**：日本地方自治研究学会　会員約 100 名
４．**パネルディスカッション**
　議題・「南海トラフの脅威と地域防災」
　　～阪神・淡路大震災、
　　東日本大震災の教訓は生かせるか～
５・パネラー：伊藤道司、(補)梶谷義昭
　・コーデイネター
　神戸まちづくり研究所：理事　野崎隆一
　・パネラー
　ひょうご地域防災サポート隊代表　伊藤道司
　住友ゴム㈱：　　人事総務部長　小松俊彦
　兵庫県防災監　　杉本明文

４・西播磨県民局「出る杭交流会議」

１．**依 頼 者**：西播磨県民局
２．**開催日時**：平成 25 年 10 月５日（土）
　　13:00～16:00
３．**開催場所**：西播磨県民局　大会議室
４．**講演等の相手**
　西播磨地域の NPO 法人等各種活動団体
　：35 団体　参加人数：約 60 名
５．**発 表 者**：伊藤道司
６．**発表内容**：
　①23 年度以降の主な災害
　②最近の集中豪雨の特徴
　③発災時の初動対応を考える

５・太子町太田地区生涯学習講座

１．依 頼 者：太子町
２．開催日時：平成 25 年 10 月 11 日（金）9:30～11:00
３．開催場所：太子町太田公民館
４．講演相手：太子町太田地区老人クラブ連合会　会員
　　参加人数：約 40 名
５．講 演 者：伊藤道司
６。講演概要：
「守れ　いのちを！　地域の防災」
～忘れたころにやってくる　災害に備える～
①忘れないで　あの大災害
②東日本大震災　いのちの教訓
③もし　南海トラフが動いたら
④太子で心配される災害
⑤みんなで　災害に備えよう

６・加東市防災学習講演

１．依 頼 者：加東市
２．開催日時：平成２５年１０月２０日（日）
３．開催場所：加東市立　社小学校
４．講演等の相手：
　　社小学校・校区自主防災組織
　　参加人数：１，３００名
５．講 演 者：阿山耕三
６．講演内容：「自分の命は自分で守る」
①大雨、洪水は・どこでも起きる
・恐ろしさ・身を守るには
②地震は　・今すぐ起きるかも
・恐ろしさ・身を守るには
③津波は　・どうして起きるのか
・恐ろしさ・身を守るには

７・多可町中村町防災コミュニテイ資料展・防災談義

１．依 頼 者：多可町中村町
２．開催日時：平成 25 年 10 月 26 日（土）
　　19:00～21:00
３．開催場所：多可町中村町コミセン多目的ホール
４．トーク相手：多可町中村町・防災委員他約 50 名
４．トーク者：伊藤道司
５．内　　容：防災談義
～防災コミュニテイの活動を振り返って～
会長と防災 WS などを振り返りながら、
更に重点的に取り組む課題や、今後の
取り組みの方向などについてのトーク
参加者の意見発表など楽しい防災談義
資 料 展：
防災コミュニテイへの取り組みの写真
・ハザードマップ・中村町拡大図・防災図書
・防災器具とうの展示

８・兵庫県道路公社　防災講演会

１．依 頼 者：兵庫県道路公社
２．開催日時：平成 25 年 10 月 30 日（金）
３．開催場所：播但連絡道路管理事務所
４．講演等の相手：
兵庫県道路公社　参加人数：約 30 名
５．講 演 者：武部信行
６．講演内容：　危機管理の心構えについて
①地震発生のメカニズム、
②特別警報など最近のトピック、
③道路管理者としての心構えについて
④などをＰＰで講演した。

９・秋田県災害ボランテイアセミナー

１．依 頼 者：秋田県・地域社会ライフプラン協会
２．開催日時：平成 25 年 11 月 01 日（金）
　　13:30～15:00
３．開催場所：秋田県庁第２庁舎　大会議室
４．講演等の相手：
　秋田県職員、秋田県内市町職員、防災関係者他
　参加人数：約 100 名
５．講 演 者：伊藤道司
６．講演概要：　シニア世代のボランテイア活動
　事例発表：～防災ボランテイア
　　その活動と今後のあり方～
　①私たちの防災活動
　②大震災などから学んだこと
　③もし 南海トラフが動いたら
　④シニアと防災ボランテイア
　⑤今後のあり方を考える

10・明石市職員防災研修

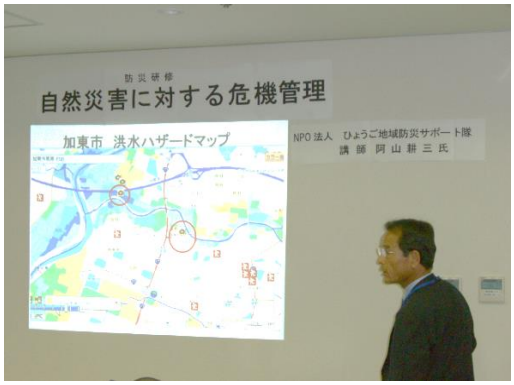
１．依 頼 者：明石市
２．開催日時：平成 25 年 11 月 15 日（金）
　　13:00～15:00
３．開催場所：明石市勤労福祉会館
　　２階多目的ホール
４．講演等の相手：
　明石市 技術職員の能力開発推進委員会
　明石市技術職員等
５．講 演 者：伊藤道司
６．講演内容：「守れ　いのちを！　地域の防災」
　～7 防災・減災と２つの事故～
　①はじめに
　②大震災などから学んだこと
　③2 つの事故を忘れない
　④もし、南海トラフが動いたら
　⑤防災意識と危機管理

11・加東市防災学習講演

１．依 頼 者：加東市
２　開催日時：平成２５年１１月１７日（日）
３　開催場所：加東市立　東条西小学校
４．講演等の相手
　東条西小学校・校区自主防災組織
５．講 演 者：阿山耕三
６．講演内容：（講演会）
　「自分の命は自分で守る」

①大雨、洪水は・どこでも起きる
　　・恐ろしさ・身を守るには
②地震は　　・今すぐ起きるかも
　　・恐ろしさ・身を守るには
③津波は　　・どうして起きるのか
　　・恐ろしさ・身を守るには

12・加東市職員防災研修



１．依 頼 者：加東市
２．開催日時：平成２５年１１月２２日（金）
３．開催場所：加東市　ケアホームかとう
４．講演等の相手：加東市職員
　　参加人数：４０
５．講 演 者：阿山耕三
６．活動内容：（講演会）
　「自然災害に対する危機管理」
　①　日本の自然災害
　②　南海トラフ巨大地震の脅威
　③　集中豪雨の激化と大水害
　④　自然災害に対する危機管理

13・香美町「香住区」防災研修会

1．**依頼者**：香美町
2．**開催日時**：11 月 30 日(土)
　　13 時 30 分～15 時 30 分　講演
3．**開催場所**：香住区香住文化会館
4．**研修相手**：香住区自治会役員、自主防災リーダー、
　　消防団、参加人員：約 80 名
5．**講演者**：寺田 良幸
6．講演の概要：
「自然災害“洪水を中心に”から身を守る」」
①東日本大震災の教訓…津波てんでんこ
②香住区の災害リスク？
③急流矢田川の特性
④洪水から身を守る為に
〇明治時代、現在の市街地を通っていた矢田川は、西の山側に付け替えられた、現在の市街地の多くは、旧河川敷に広がっている。

14・香美町「村岡・小代区」防災研修会

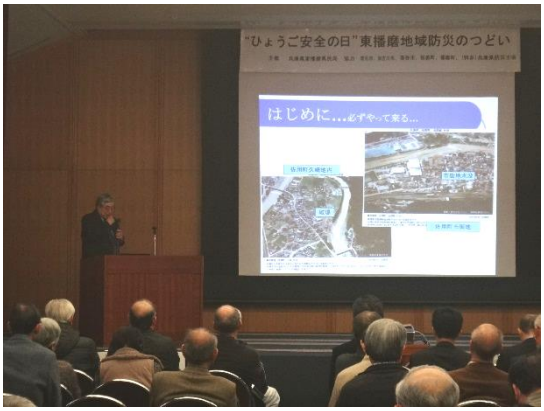
1．**主 催 者**：香美町
2．**開催日時**：平成 25 年 12 月 1 日(日)
　　13 時 30 分～15 時 30 分　講演
3．**開催場所**：村岡区村岡老人福祉センター
4．**研修相手**：村岡・小代区自治会役員、
　　自主防災リーダー、消防団、
　　参加人員；約 70 名
5．**講 演 者**：寺田 良幸
6．**講演概要**：
「自然災害“土砂災害を中心に”から身を守る」」
①東日本大震災の教訓…津波てんでんこ
②村岡・小代区の災害リスク？
③我国有数の地すべり地帯を抱える当地の災害特性
④土砂災害から身を守る為に

＊特記
〇村岡・小代区は、日本有数の地すべり地帯であり、土砂災害からの防災の必要性を強調。
〇土砂災害から命を守る為には、十分な準備・訓練が必要な事を強調。

15・加古川市婦人消防クラブ防災研修大会

１．主 催 者：加古川市消防署
２．開催日時：平成 25 年 12 月８日(日)
　　10 時～12 時　講演
３．開催場所：加古川市防災センター
４．研修相手：加古川市婦人防火クラブ会員、
　　消防署職員
　　参加人員；約 160 名
５．講 演 者：寺田 良幸
６．講演の概要；
「加古川市の防災特性と家庭で出来る防災」
①東日本大震災の教訓…津波に負けない避難行動
②加古川市の災害リスク？…洪水、地震、津波
③家庭で出来る防災
＊特記
地域を中心に活動し、地域で多くの時間を過ごす、ご婦人の防災力は、地域にとって、大変重要な力であり、は学習・マップづくり・訓練と熱心に活動を展開している。

16・東播磨地域防災の集い



１．依 頼 者：東播磨県民局
２．開催日時：平成 26 年１月 16 日(木)
○ 14 時～17 時　講演
３．開催場所：加古川市総合文化センター
４．研修相手：東播磨県民局管内の防災関係者、
　　一般県民,行政職員　参加人員；約 180 名
５．講 演 者：寺田良幸
６．講演概要：
「異常気象の下での洪水に対する防災」
①一級河川加古川の特性
②加古川の災害リスク？…氾濫原に広がる市街地
③洪水ハザードマップについて…外水・内水の影響
④自主避難の大切さ

17・たつの市地域防災リーダー養成講座

１．依 頼 者：たつの市総務部危機管理課
２．開催日時：平成 26 年 1 月 29 日（水）
　　10 時 10 分～12 時
３．開催場所：たつの市　分庁舎ホール
４．講演等の相手
　たつの市民
　参加者 30 人を広報等で公募
４．講 演 者：伊藤道司
５．活動内容：たつの市地域防災リーダー養成講座
　講演：「守れ 命を！地域の防災」
　　～災害から　命を守るために～
　① 守れ 命を！地域の防災
　② 東日本大震災　命の教訓
　③ 南海トラフは必ず動く
　④ 最近の豪雨災害の特徴
　⑤ 災害から　命を守るた

18・すもと城下町まちづくり協議会講演会

１．依 頼 者：すもとまちづくり協議会
２．開催日時：平成 26 年２月９日（日）
３．開催場所：洲本市総合福祉会館
４．講演相手：すもと城下町まちづくり協議会
　町内外町各町内会役員　約 70 名市職員５名
５．講 演 者：西垣嘉夫・(補) 森脇康仁
６．講演内容：「守れ！　いのちを」
　　～深めよう家族のきずな・
　高めよう地域のきずな～
①東日本大震災は・・・想定外だったのか
②過去の地震津波に学ぶ
③地震が起こると・・・想像してみよう
④南海トラフ巨大地震の被害想定
⑤洲本での津波浸水想定
⑥巨大地震にそなえて
⑦わが町の防災マニュアルをつくろう

Ⅱ．防災啓発活動（防災訓練等支援）

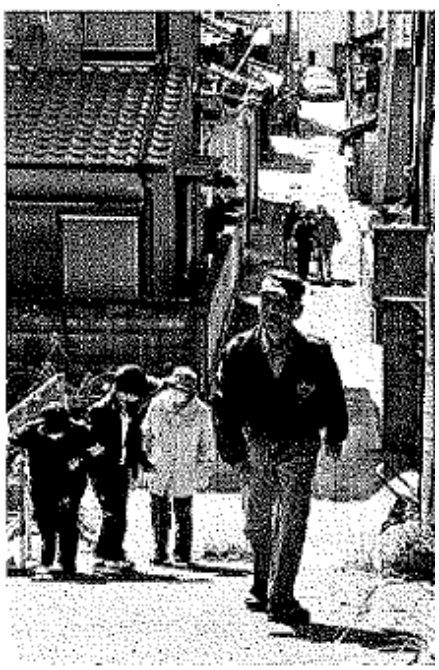
私たちは、地域の自治体等の要請にもとづき、防災啓発活動を通じて防災訓練に参加して、６箇所において支援活動を行いました。

NO	開催時期	支援内容	支援場所	担当者
1	25.04.28	洲本市潮地区防災訓練・防災学習	塩屋地区・炬口地区	伊藤道司 森脇康仁
2	25.10.27	上郡町高田台地区　総合防災訓練・防災講演	上郡町高田台自治会公民館	伊藤道司 前田昌俊
3	25.11.17	淡路島総合防災訓練（南あわじ市）	南あわじ市立辰美小学校体育館	西垣嘉夫・常友永市
4	25.11.24	稲美町上新田防災訓練講演	稲美町上新田公民館	阿山耕三
5	26.01.17	県立淡路高等学校防災避難訓練及び講演会	県立淡路高等学校	伊藤道司
6	26.02.10	伊丹市防災訓練支援	伊丹市防災センター（災害対策室）	西垣嘉夫 常友永市 窪田　彰 高橋伸明 釜谷正博 森脇康仁

１・洲本市潮地区防災訓練・防災学習

１．依 頼 者：洲本市
２．開催日時：平成 25 年４月 28 日（日）　9:00～12:00
３．開催場所：洲本市潮地域（塩屋地区・炬口地区）
４．講演等の相手
　洲本市　潮地区連合自治会　地域住民
　参加人数：約 120 名
５．講 演 者：伊藤道司・(補)森脇康仁
６．活動内容：
　⑴　防災訓練（塩屋地区・炬口地区での避難訓練）
　⑵　防災学習：①お見舞い申し上げます
　　②潮地域での防災マップづくり
　　③にげましょう
　　④南海トラフ地震と津波
　　⑤家庭ですべき地震対策

（神戸新聞より）



２・上郡町高田台地区　総合防災訓練・防災講演

１．依 頼 者：西播磨県民局
２．開催日時：平成 25 年 10 月 27 日（日）9:00～12:00
３．開催場所：上郡町高田台自治会公民館
講演等の相手：
西播磨県民局企画防災課
郡町高田台地区：連合・単位自治会役員、女性部、消防団他
参加人数：約 100 名
４．講 演 者：伊藤道司・(補)前田昌俊
５．講演内容：高田台地区総合防災訓練
(1)防災講演
「守れ　いのちを！　地域の防災」
～災害から　いのちを守るために～
①播磨などでの災害の記憶
②最近の豪雨災害の特徴
③東日本大震災の　いのちの教訓
④もし、南海トラフが動いたら
⑤災害から　いのちを守るために

(2)グループ学習
（参加者 10 グループ、学習テーマを選択）
学習テーマについて、グループで意見交換し災害の認識・備え・地域の協力について意高揚を図る。

３・淡路島総合防災訓練（南あわじ市）

１．**依 頼 者**：淡路島総合防災訓練実行委員会：事務局南あわじ市防災課
２．**開催日時**：平成２５年１１月１７日（日）８：００～１０：００
３．**開催場所**：南あわじ市立辰美小学校体育館
４．**講演等の相手**
　南あわじ市津井地区連合自治会（６自治会役員）
　南あわじ市防災課　参加人数：２５名（ＥＡＲＴＨ３名含む）
５．**講 演 者**：西垣嘉夫・(補）常友永市
６．**活動内容**：（講演名、活動内容など）
「守れ　いのちを」わが町の防災マップをつくって
昨年の辰美小学校児童と父兄による「防災マップづくり～避難訓練」を事例にマップ作りを地域ぐるみの取り組みに広げていくための講演とワークショップＥＡＲＴＨ講演、サポート隊講演、児童３人の体験発表、自治会での課題発表、参加者によるワークショップ

４・稲美町上新田防災訓練講演

１．依 頼 者：稲美町上新田自主防災組織
２．開催日時：平成２５年１１月２４日（日）
３．開催場所：稲美町　上新田公民館
４．講演等の相手：
　　団体稲美町上新田自主防災組織 30 名
５．講 演 者：阿山耕三
６．講演概要：
「自然災害に対する
　　防災意識の向上」
　① 日本の自然災害
　② 南海トラフ巨大地震
　　の脅威
　③ 集中豪雨の激化と大水害

５・県立淡路高等学校防災避難訓練及び講演会

１．依 頼 者：県立淡路高等学校
２．開催日時：平成 26 年 1 月 17 日（金）
　　避難訓練 10:40～11:40
　　講演会　11:50～12:40
３．開催場所：県立淡路高等学校
　　各教室～生福寺～体育館
４．講演の相手：PTA
　　参加人数：生徒 337 名、教員 48 名、PTA
５．講 演 者：伊藤道司
６．講演内容：「守れ　いのちを！　地域の防災」
　　～災害から　命を守るために～
　① 阪神淡路大震災の記憶
　② 東日本大震災　命の教訓
　③ 南海トラフ地震と広域災害
　④ 最近の豪雨災害に学ぶ
　⑤ 君たちに期待される備え・行動

６・伊丹市防災訓練支援

１．依 頼 者：伊丹市
　　防災訓練支援（伊丹市防災訓練ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ業務）
２．開催日時：平成 26 年２月 10 日（月）13：15～16：45
３．開催場所：伊丹市防災センター2 階３階（災害対策室）
４．講演等の相手
　伊丹市危機管理室参加人数：105 名
５．講演者：西垣
　　（補）常友永市・窪田　彰・高橋伸明・釜谷正博・森脇康仁
６．活動内容：
　・図上防災訓練（ロールプレイ方式）
　・活動内容：訓練企画～報告の監修、ファシリテーター、講評
　・南海トラフ巨大地震本日２月 10 日 12：30 発生を想定
　13：15～13：45 配置、オリエンテーション
　13：45 訓練開始、各部被害状況報告（第２回本部会議想定）
　14：00～16：00 リアルタイムに電話・無線・シートで条件付与
　16：00～各部活動報告（第３回本部会議想定）・課題報告
　16：30～関係機関意見発表、サポート隊講評

Ⅲ．防災啓発活動（防災マップづくり等支援）

自主防災組織の活性化を図り、地域の防災組織の向上を図る取り組みの一つとして、地域の人たちによる手作りの「地域防災マップづくり」や「DIG 訓練」、「ワークショップ」等を、自治体や自主防災組織等を対象に、10 地区において、支援活動を実施しました。

実施個所

NO	実施日	事業内容	実施場所	担当
1	25.06.29	三田市富士が丘５丁目 講演・防災マップ作り	富士が丘コミュニティセンター	梶谷義昭
2	25.07.28	桜消会(宝塚市消防団後援会）講座・防災マップ作り	宝塚市西谷ふれあい夢プラザ体育館	西垣嘉夫．梶谷義昭 釜谷正博．常友永市 寺田良幸．溝口壽孝
3	25.09.28	朝来市地域自治協議会 講演・防災マップ作り	朝来市 さんとう緑風ホール	伊藤道司．梶谷義昭 窪田　彰．武部信行 常友永市．溝口壽孝
4	25.11.03	但馬県民局自主防災組織交流大会	但馬空港ターミナルビル	梶谷義昭 伊藤道司
5	25.11.10	浜坂自治区自主防災 研修会	新温泉町多目的集会施設	伊藤道司 梶谷義昭
6	25.12．04	榎列小学校（淡路県民局「学ぼう災事業」）DIG 訓練	南あわじ市立榎列小学校	西垣嘉夫 窪田　彰．森脇康仁
7	25.12..07	猪名川町自主防災 リーダー研修	猪名川町中央公民館視聴覚室	西垣嘉夫 寺田良幸．常友永市 釜谷正博．村上　修
8	25,12,16	阪神南県民局幹部職員 図上訓練	阪神南県民局（尼崎庁舎）会議室	西垣嘉夫．高崎伸彦 常友永市．窪田　彰 釜谷正博．森脇康仁
9	26.03.17	阪神北県民局職員 防災研修	阪神北県民局会議室	窪田　彰．西垣嘉夫 寺田良幸．常友永市 高橋伸明．釜谷正博 森脇康仁

１・三田市富士が丘５丁目講演・防災マップ作り

１．依 頼 者：三田市
２．開催日時：平成２５年６月２９日（土）
３．開催場所：三田市富士が丘５丁目地区、富士が丘コミュニティセンター
４．講演等の相手：三田市富士が丘５丁目自治会
　　参加人数：２０人
５．講 演 者：梶谷義昭
６．講演内容：

⑴午前中（１０時～１２時）まち歩き

⑵午後（１３時３０分～１６時）マップづくり

（マップづくりの前に、「マップづくりのねらい」について、
資料に基づきプレゼンテーション。）

２・桜消会（宝塚市消防団後援会）講座・防災マップ作り

１．依 頼 者：桜消会（宝塚市消防団後援会）
２．開催日時：平成 25 年７月 28 日（日）
　　９：00～12：00
３．開催場所：宝塚市西谷ふれあい夢プラザ体育館
４．講演等の相手
　桜消会（宝塚市消防団後援会）
　　参加人数：桜消会 39 名、自主防災組織 34 名、消防団 11 名、計 84 名
　　サポート隊６名、県治山課２名、治山ＯＢ1 名
　　宝塚・防災リーダーの会 13 名、その他４名、　総計 110 名
５．講 演 者：西垣嘉夫
　ファシリテーター：梶谷義昭・釜谷正博・常友永市・寺田良幸・溝口壽孝
６・活動内容：（講演名、活動内容など）
　　講演名「守れ！いのちを」～地域の防災力で～　　40 分
　　ワークショップ：わが町の防災マップをつくろう　120 分

３・朝来市地域自治協議会講演・防災マップ作り

１．依 頼 者：朝来市
２．開催日時：平成 25 年９月 28 日（土）
　　13:30～16:50
３．開催場所：朝来市　さんとう緑風ホール
４．講演等の相手
　朝来市　地域自治協議会：
　　代表者・防災担当者等
　　朝来市総合政策課
　参加人数：約 100 名
５．講 演 者１：伊藤道司
　・講 演 者２：梶谷義昭
　・ファシリテーター：
　　窪田　彰・武部信行
　　常友永市・溝口壽孝

６．活動内容：（講演名、活動内容など）
　⑴　講演
　　「守れ いのちを！　地域の防災」
　　～自分の命は時分で守る
　　自分たちのまちは自分たちで守る～
　⑵マップづくり
　　・DIG 手法による防災マップづくり
　　市内 11 小学校区ごとに 11 班を編成し
　　各班でマップづくり

４・但馬県民局自主防災組織交流大会

１．依 頼 者：但馬県民局
２．開催日時：平成　25 年　11 月　３日（日）、13 時 30 分～17 時
３．開催場所：但馬空港ターミナルビル
４．講演等の相手
　　兵庫県但馬県民局　総務企画室
　　参加人数：県民局管内の自主防災組織リーダー等 80 人
５．講演・アドバイザー：１梶谷義昭・２伊藤道司

６．活動内容
⑴講演
「自主防災組織活性化の課題と対策」

⑵グループ討議（10 班、ワークショップ形式）のアドバイス
・討議テーマ：「自主防災組織活性化のための取組みについて」

⑶講評（グループ発表後の講評）

５・浜坂自治区自主防災研修会

１．依 頼 者：浜坂自治区
２．開催日時：平成　25 年 11 月 10 日（日）、
　　９時 30 分～12 時
３．開催場所：新温泉町多目的集会施設
４．講演等の相手：浜坂自治区
　　参加人数：70 名
５．講演・アドバイザー：伊藤道司・梶谷義昭

６．活動内容：
⑴講演：「災害時における情報班のあり方」
①最近の豪雨災害の特徴
②東日本大震災　いのちの教訓
③浜坂で想定される災害
④災害時の情報班のあり方
⑤地域での災害の備え

⑵グループ討議（８班に分けてワークショップ）のアドバイス
・討議テーマ
地震、津波、火災、水害について、
情報入手方法、避難体制等の対応策

（３）取りまとめ結果についての講評

６・榎列小学校（淡路県民局「学ぼう災事業」）DIG 訓練

１．依 頼 者：南あわじ市
２．開催日時：平成２５年１２月４日（水）１５時～１７時
３．開催場所：南あわじ市立榎列小学校
４．講演等の相手
　南あわじ市立榎列小学校　参加人数：教職員２０名
５．講 演 者：西垣嘉夫
　ファシリテーター：窪田　彰・森脇康仁
６．活動内容：
　⑴　講演「守れ　いのちを」必ずやってくる地震・津波に備えて
　⑵　教職員 20 人を対象にＤＩＧ訓練の実習（３班）
　　・南海トラフ巨大地震の発生を想定、マップづくりワークショップ
　　・休日夜間 19：30 自宅で発生時
　　・平日朝７：30 通学時の発生時
　　・平常時の備え、出勤手段、初動体制、
　　・出勤途上での児童・地域への対応、出勤直後の初動対応

７・猪名川町自主防災リーダー研修

１．依 頼 者：猪名川町
２．開催日時：平成２５年１２月7日（土）９：００～１２：００
３．開催場所：猪名川町中央公民館視聴覚室
４．講演等相手：
　　猪名川町自主防災組織（49 組織）の各防災リーダー
　　猪名川町消防署　　参加人数：４３人
　（町内在住のひょうご防災リーダーがファシリテーターとして参加
　　８名うち防災士会所属４名）
５．講 演 者：西垣嘉夫
　ファシリテーター：寺田良幸・常友永市・釜谷正博・村上　修
４．活動内容：（講演名、活動内容など）
　⑴　講演
　　「避難について考える」
　⑵　マップづくり
　・町が新規作成した防災マップを活用した各地域での防災マップ作り、
　・７小学校区に分かれ、参加者の多い２校区は２班、計９班
　・各地域における緊急時の一時避難所の検討
　・避難について考える班別ワークショップ、発表
　（一昨年講演会、昨年防災マップづくり、今年度ワークショップ）

８・阪神南県民局幹部職員図上訓練

１．依 頼 者：阪神南県民局
２．開催日時：
　　平成２５年１２月１６日（月）
　　９：30～12：00、13：30～16：00
３．開催場所：阪神南県民局（尼崎庁舎）会議室
４．講演等の相手：阪神南県民局幹部職員
　　参加人数：午前の部 26 名、午後の部 26 名
５．講 演 者：西垣嘉夫
　ファシリテーター：高崎伸彦・常友永市・窪田　彰・釜谷正博・森脇康仁
６．活動内容：（講演名、活動内容など）
　⑴　講演
　⑵　図上訓練（DIG）　午前午後２回に分け実施
　　地域防災計画における体制を５班にしてワークショップ
　　・南海トラフ巨大地震の発生を想定
　　・休日夜間 19：30 自宅在宅時、平日昼間 14：46 事務所在所時
　　・平常時の備え、自宅通勤路の被害想定、出勤方法、
　　・マップづくり、事務所周辺の被害想定、初動活動、

９・阪神北県民局　図上防災研修

1．依 頼 者：　阪神北県民局
2．開催日時：平成 26 年　３月 17 日（月）
　　午前９：15～11：50、午後 13：15～15：50
3．開催場所：阪神北県民局会議室
4．講演等の相手：阪神北県民局職員
　　参加人数：５１名
5．講 演 者：窪田　彰
　ファシリテーター：西垣嘉夫・寺田良幸・常友永市・高橋伸明
　　・釜谷正博・森脇康仁
6．活動内容：
　　DIG 手法を用いての直下型地震に対する初期対応について

Ⅳ・防災講演会開催

1.17 と 3.11 に学ぶ　～南海トラフ地震などに備えるために～

平成 7.1.17 の阪神･淡路大震災と平成 23.3.11 の東日本大震災の教訓や課題などについて、近い内に必ず起こると想定されている南海トラフ地震・津波などに備えていきたいとの思いで、「ひょうご安全の日推進事業」の助成を受けて、この防災講演会を開催した。

１．主 催 者：NPO 法人　ひょうご地域防災サポート隊

後援：兵庫県．神戸市．

兵庫県まちづくり技術センター．兵庫県住宅建築総合センター

２．開催日時：平成 26 年２月 18 日㈫

３．開催場所：相楽園会館１F 大会議室

４．参加者：市町民、地域の防災リーダー、行政関係者、

（募集・150 人　、300 人近い応募、参加者 280 人）

５．講演者

・**講演１部．** 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構

特別顧問　貝原俊民

「阪神･淡路大震災から 20 年を迎えて」

・**講演２部．** 兵庫県立大学防災教育センター

センター長室﨑益輝

「東日本大震災の復興の現状と課題」

６．講演内容

・講演１部　　貝原俊民

「阪神･淡路大震災から 20 年を迎えて」

はじめに

⑴ **大震災襲来**

⑵ **近代化がもたらす国難**

⑶ **日本の近未来と国難**

⑷ **あるべき国家戦略**

⑸ **兵庫の挑戦**

・講演２部．室﨑益輝

「東日本大震災の復興の現状と課題」

⑴**復興の現状**

はじめに

①復興の全体像

②復興の光の部分

③復興の陰の部分

④被災者避難者の現状

⑤住宅再建の現状

⑥復興まちづくりの現状

⑦経済再建の現状

⑵**復興の問題点と課題**

①復興の遅れの原因

②復興計画の問題

③当面の復興の課題

【住まいの復興の見通し（平成25年11月末時点）】

①災害公営住宅の整備に係る進捗見込み（戸数）

	26年度まで累計	27年度まで累計
岩手県（進捗率）	概ね2,300戸（概ね4割）	概ね5,400戸（概ね9割）
宮城県（進捗率）	概ね7,100戸（概ね5割）	概ね12,700戸（概ね8割）注）
福島県	概ね2,400戸	概ね3,200戸

注）宮城県の全体計画戸数（概ね15,700戸）のうち、概ね3,000戸については、用地交渉中や整備計画の策定中など現段階では供給時期を調整中である。

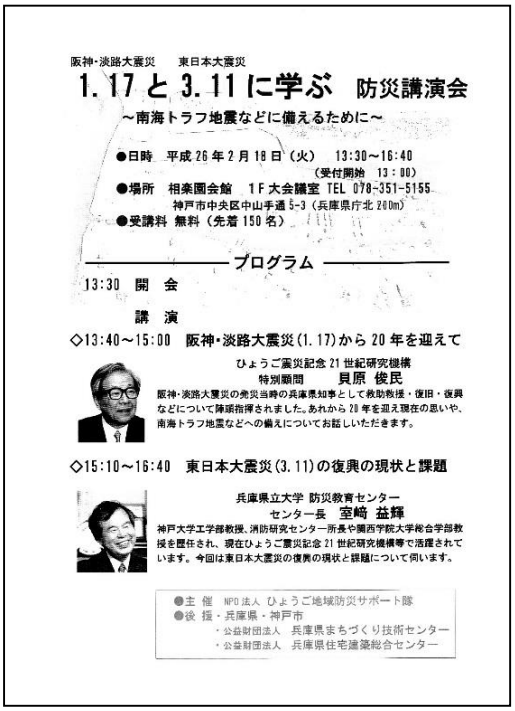
②民間住宅等用宅地の整備に係る進捗見込み（宅地数）

27年度まで累計	28年度以降も含めた累計
概ね5,000戸（概ね6割）	概ね8,900戸（10割）
概ね6,100戸（概ね5割）	概ね11,500戸（概ね10割）注）
概ね900戸	概ね2,500戸

注）宮城県の全体計画戸数（概ね11,900戸）のうち、概ね400戸については、用地交渉中や整備計画の策定中など現段階では供給時期を調整中である。

７．その他

・配布チラシ・レジメ等



阪神・淡路大震災　東日本大震災

1.17 と 3.11 に学ぶ　防災講演会

～南海トラフ地震などに備えるために～

●日時　平成 26 年 2 月 18 日（火）　13:30～16:40
（受付開始　13：00）

●場所　相楽園会館　1F 大会議室 TEL 078-351-5155
神戸市中央区中山手通 5-3（兵庫県庁北 200m）

●受講料 無料（先着 150 名）

プログラム

13:30 開　会

講　演

◇13:40～15:00　阪神・淡路大震災(1.17)から 20 年を迎えて

ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
特別顧問　貝原 俊民

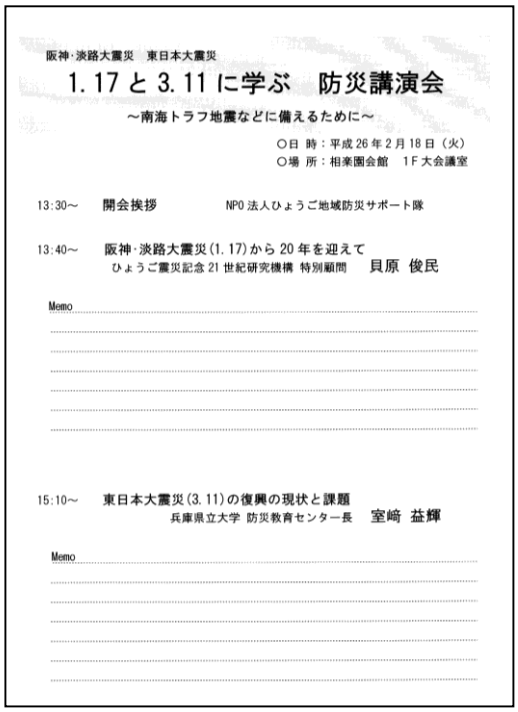
阪神・淡路大震災の発災当時の兵庫県知事として救助救援・復旧・復興などについて陣頭指揮されました。あれから 20 年を迎え現在の思いや、南海トラフ地震などへの備えについてお話しいただきます。

◇15:10～16:40　東日本大震災(3.11)の復興の現状と課題

兵庫県立大学 防災教育センター
センター長　室﨑 益輝

神戸大学工学部教授、消防研究センター所長や関西学院大学総合学部教授を歴任され、現在ひょうご震災記念 21 世紀研究機構等で活躍されています。今回は東日本大震災の復興の現状と課題について伺います。

●主 催　NPO 法人 ひょうご地域防災サポート隊
●後 援・兵庫県・神戸市
・公益財団法人　兵庫県まちづくり技術センター
・公益財団法人　兵庫県住宅建築総合センター



阪神・淡路大震災　東日本大震災

1.17 と 3.11 に学ぶ　防災講演会

～南海トラフ地震などに備えるために～

○日 時：平成 26 年 2 月 18 日（火）
○場 所：相楽園会館　1F 大会議室

13:30～　開会挨拶　NPO 法人ひょうご地域防災サポート隊

13:40～　阪神・淡路大震災(1.17)から 20 年を迎えて
ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 特別顧問　貝原 俊民

Memo

15:10～　東日本大震災(3.11)の復興の現状と課題
兵庫県立大学 防災教育センター長　室﨑 益輝

Memo

● 受付状況

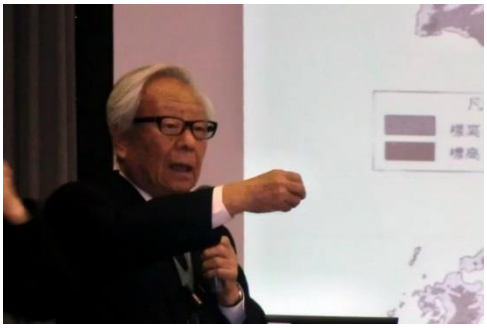
● 講師と打合せ

● 開会あいさつ

ひょうご地域防災サポート隊
理事長　　伊藤道司

● 講演　　貝原俊民

阪神淡路大震災から 20 年を迎えて



● 講演　室崎益輝

東日本大震災の復興の現状と課題

Ⅳ　その他の活動

自治体等の要請に基づき、委員会・協議会等に参加したり、他の団体とコラボしたりして防災の普及啓発活動に参加しました。

NO	開催日	活動内容	活動場所	担当
1	25.07.31	みんなの声かけ運動 応援協定	兵庫県公館　大会議室	寺田良幸 阿山耕三
2	26.01.31	1.17 から 3.11 へ　～つながる人と街～交流会参加	神戸三宮　東天紅	伊藤道司
3	26.01.28 02.17	「自主防災活動事例集」検討会委員	県民会館	伊藤道司
4	26.03.19	武庫川流域圏地域総合治水推進協議会	尼崎市 中小企業センター	伊藤道司

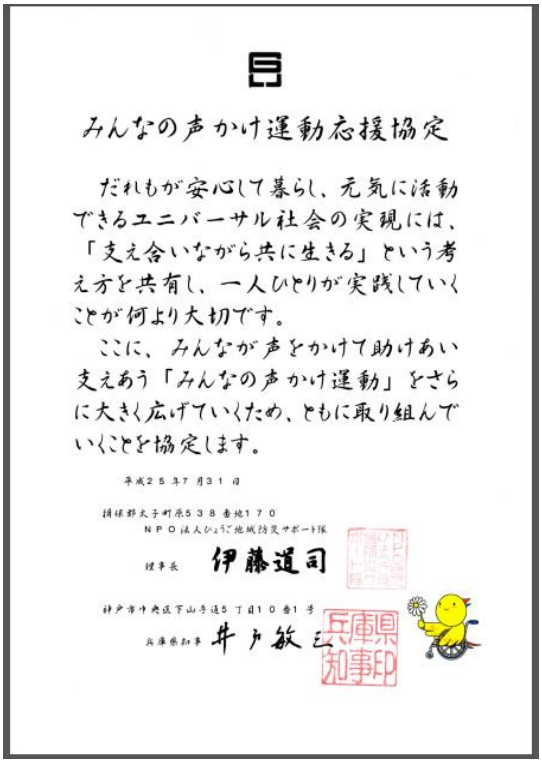
１・みんなの声かけ運動応援協定

みんなの声かけ運動応援協定締結式

１．**開催日時**：平成 25 年７月 31 日（水）
　　13:30～15:00

２．**開催場所**：兵庫県公館　大会議室

３．**出席者**：寺田良幸・阿山耕三



目

みんなの声かけ運動応援協定

だれもが安心して暮らし、元気に活動できるユニバーサル社会の実現には、「支え合いながら共に生きる」という考え方を共有し、一人ひとりが実践していくことが何より大切です。

ここに、みんなが声をかけて助けあい支えあう「みんなの声かけ運動」をさらに大きく広げていくため、ともに取り組んでいくことを協定します。

平成２５年７月３１日

神戸市兵庫区荒田町５３８番地１７０
ＮＰＯ法人ひょうご地域防災サポート隊
理事長　伊藤道司

神戸市中央区下山手通５丁目１０番１号
兵庫県知事　井戸敏三

２・1.17 から 3.11 へ　～つながる人と街～交流会参加

１．**依頼者**：ひょうごボランタリープラザ

２．**開催日時**：平成 26 年１月 17 日（金）18:00～20:00

３．**開催場所**：神戸市中央区三宮町：東天紅

４．**交流会**

・主催者：ひょうごボランタリープラザ　協力：日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ株式会社

・被災地 16 名、県内 74 名　計 90 名

５．**参加者**：伊藤道司

６．**交流会**：東日本大震災被災地：名取市閖上地区
　　愛島東部団地仮設住宅会長他 15 名
　　及び東北大学教授）との交流会

７．**次第**：

① 開会あいさつ・乾杯・懇談

②復興記念演奏・堀内 圭三さん　他

③あいさつ　愛島東部団地仮設住宅会長

④閉会あいさつ　生涯学習応援隊

３・「自主防災活動事例集」検討会委員

１．依 頼 者：兵庫県災害対策局
２．開催日時：第１回　26 年１月 28 日（火）14 時～16 時
　　第２回　26 年２月 17 日（月）10 時～12 時
３．開催場所：第１回　県民会館　7F ぼたん
　　第２回　県民会館　会議室 1101
４．委　　員：伊藤道司
５．活動内容：25 年度「自主防災活動事例集」の検討
　１）実施主体：災害対策局消防課➡消防協会
　２）検討委員：舩木 伸江（神戸学院大学 社会防災学科　准教授）
　　奥村 芳彦（神戸市消防局　予防課長）
　　伊藤 道司（ひょうご地域防災サポート隊　代表）
　３）第１回　県が作成した原稿について意見交換と検討
　４）第２回　第１回を踏まえた原案の検討
６．検討資料等
　１）検討資料：①太子町北之町防災訓練（激流豪雨体験訓練ほか）
　　：②自主防災行動計画づくり（多可町中村町、洲本市潮地区）

４・武庫川流域圏地域総合治水推進協議会

１．依 頼 者：兵庫県
２．開催日時：第３回　26 年３月 19 日（火）15:00～16:30
　　（第１回、第２回　は昨年度実施）
３．開催場所：第３回　尼崎市中小企業センター　1F 多目的ホール
４．委　　員：伊藤道司
５．主な議題
　１）武庫川流域圏地域総合治水推進計画の取り組み状況
　２）総合治水推進計画の啓発
　３）武庫川流域圏地域総合治水推進協議会の今後の進め方
６．検討資料等
　　手作りハザードマップ　作成のポイント